

2022年秋年末闘争・組織拡大

CTGの建交労道本部闘争速報

2022年9月21日/第1号

〒060-0909 札幌市東区北9条  
東1丁目北海道労働センター2F  
TEL011-711-7377  
FAX011-711-7388  
e-mail/ctg.hokkaido@gmail.com

# 北海道のとりくみを報告

## 全国鉄道本部第25回定期大会

9月10日に建交労全国鉄道本部第25回定期大会が開催され、北海道鉄道本部からは3名の代議員が参加して北海道でのとりくみについて発言しました。加藤副委員長は函館本線山線のバス転換問題で社員が抱える不安を職場労働者から寄せられた生の声として報告し、最上書記長からは今春闘で500円のベースアップを21年ぶりにかちとった交渉の状況や職場で一緒に汗を流す他労組の仲間から寄せられた声と建交労への期待が報告されました。竹田委員長は北海道鉄道本部が取り組む3つの活動目標として、不合理な待遇差と労働条件格差の是正、若年退職にストップをかける施策の確立をめざす中で、職場での対話と交流を通じて社員が抱える悩みや希望を受け止めて、会社との交渉で実現をめざしていく姿から信頼を深めて組織拡大にむけ踏み出すことを発言しました。大会ではJR各社・関連会社ではたらく鉄道本部の仲間たちが地域からの要求や職場からの声をもとに各地で奮闘する姿が報告され、全動労結成から50年を迎える建交労鉄道本部の歴史を引き継ぐためにも仲間を増やすとりくみへの抱負が述べられました。そして、国民の交通権の確保をはじめ全国鉄道ネットワークの維持と拡充をはかる運動をさらに前進させて、切実な要求を出発点に労働組合の力で実現することが組織の拡大に結びついていることを全組合員が共有して、労働組合への確信と団結を強めていくことを確認しました。

## 北海道建設アスベスト第3陣訴訟口頭弁論

9月13日に札幌地裁で「北海道建設アスベスト第3陣訴訟」の口頭弁論が開かれ、原告団長の今順子さん（遺族）が意見陳述をおこない、弁護団の長野順一弁護士が弁論更新にあたって意見陳述しました。次の口頭弁論は11月17日（木）午後2時から開かれます。

## 全国事業団・高齢者部会が総会

全国事業団・高齢者部会は9月15日にオンラインで第24回総会を開きました。総会では1年間の活動のまとめと新年度運動方針を決定しました。新年度役員には北海道から引き続き函館支部の鈴木さんが幹事に、旭川支部の須貝さんが事業対策委員に選出されました。

## 第24回全国大会での発言

建交労第24回定期大会（8月27～28日）で、北海道から函館支部・鈴木互代議員が函館でとりくむ「食材もってけ市」の活動について報告して討論に参加しました。これまで8回にわたって行われてきた「食材もってけ市」ですが、学生ボランティアが延べ162名、食材を受け取った学生は延べ1,259名にのぼりました。感染対策上、インターネットで受付フォームを作成して対応するなどの工夫を凝らし、200名を超える申し込みがあるなど運営側としてもうれしい悲鳴があがるなか、当日に参加できなかった学生に対しては食材を届けるとりくみもしてきました。しかし、函館では8月の豪雨災害で農家がこれまでにない被害を受けるなど、食材確保に頭を悩ませています、「第9回食材もってけ市」に向け、あらたに奮闘する決意が述べられました。